

第 11 回 JCHO 玉造病院地域医療連絡協議会議事

日時 : 令和 2 年 10 月 8 日 (木) 17:00~18:00

場所 : JCHO 玉造病院 1 階会議室

外部委員 : 松江市医師会 泉会長、松江赤十字病院 大居院長

松江保健所 竹内所長、松江市健康部 小塚部長

玉湯町自治連合会 勝部会長

病院側委員 : 池田院長、芦沢副院長、川合統括診療部長、三谷看護部長

宮川事務部長

● 院長挨拶

本日はお忙しい中、第 11 回の JCHO 玉造病院地域連絡協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。また日頃より当院の運営にご指導いただきありがとうございます。今年度から事務部長と看護部長が変わり、新しいメンバーとなっています。

では、委員の皆様には忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

● 外部委員および病院側委員の紹介

➤ 外部委員：事務部長より紹介

松江医師会会長 泉 明夫 様

松江赤十字病院 大居 慎治 様

松江保健所所長 竹内 俊介 様

玉湯連合自治会会長 勝部 廣三 様

※松江市健康部部長 小塚 豊 様は欠席

➤ 内部委員：事務部長より紹介

● 議事 ※議事進行は宮川事務部長

① 令和 2 年度事業運営状況

宮川事務部長より令和 2 年度事業運営状況について報告が行われた。

○ 外部委員

入院患者数や手術件数の減少についてご質問させてください。整形外科は内科・耳鼻科・小児科などに比べて、新型コロナウイルスの影響を受けにくいと考えていますが、一連の減少傾向はコロナ以外の要因等があるのでしょうか？

○ 内部委員

やはり新型コロナウイルスの影響によるところが大きいです。当院は不要不急の手術が多いということが減少の理由の一つでもあり、コロナを理由に手術の延期や中止を希望される患者さんがおられます。また手術だけでなく関節などの痛みを我慢しているという患者さんもあり、外来も減少傾向にあります。紹介患者さんについても、開業医の患者さんが減少している分、同じく減少傾向にあります。

当院に限らず、交通外傷患者等も減っていると思いますが、いかがでしょうか？

○ 外部委員

外傷も減っています。おそらくコロナの影響であまり出歩かなくなったからだと思います。それから不思議なことに脳外の患者も減っています。

② 令和2年度上半期の取り組み

JCHO 中期計画に則した玉造病院の取り組むべき課題、新型コロナウイルスの影響とその対応について報告が行われた。

○ 特段の意見なし

③ 下半期に向けての課題・取り組み

池田院長より地域医療構想への対応、医師の勤務状況と今後の医師確保、手術支援ロボットの導入について報告が行われた。

○ 特段の意見なし

④ 健康増進ホームの閉鎖

宮川事務部長より健康増進ホームの閉鎖にかかる経緯と今後の取り扱いについて報告が行われた。

○ 外部委員

健康増進ホームは玉湯地区の住民も多く利用させていただきました。聞いた話によると遠く県外の方々も多く利用されているようで、中には毎年の利用を非常に楽しみにしている方もいらっしゃいました。時代の流れもあるとはいえ、私自身も、幼少のころから、古くは厚生団の病院だったときから、玉造温泉街の中心にある施設ということで思い入れがあるものですから、今回の決定を残念に思っています。今後、施設をどのようにするかということですが、あれだけの広い土地を取り扱うのはとても難しい問題だと思います。私は市が購入すれば良いのではと考えていましたが、現状ではそれも難しそうです。玉造温泉街の中心にある施設ですから、ぜひ有効に活用していただ

ければと思います。

○ 内部委員

地域の方々への周知も含め、今後どのように進めるかについては、ご相談をさせていただきながら進めていきたいと考えています。またご意見をいただければ幸いです。

● 意見交換会

○ 内部委員

本日の議題につきましてご意見ご質問ありますでしょうか。また、病院に対する要望も含めまして何でも結構です。どなたかご発言ございませんでしょうか。

○ 外部委員

今年度も病床機能報告のご提出をお願いしているところです。報告をご提出していただき、それに基づいて松江圏域として将来的にどうするかという議論を深めていくことになります。地域医療構想への対応も含めて、重要な資料となりますのでぜひご協力をお願いします。

○ 内部委員

よろしくお願いします。

○ 外部委員

当院も新型コロナウイルスの影響で苦戦しておりましたが、9月から病床利用率も回復傾向にあります。玉造病院も同じような傾向になるのでは？

○ 内部委員

10月の手術件数は従来と同程度に戻りました。病床利用率に関してはまだ戻っていない状況です。地域連携パス等でご紹介いただければと思います。

○ 外部委員

2点お伺いします。一点目は地域包括ケア病床の稼働率の状況についてお伺いします。二点目は、紹介率と逆紹介率についてです。月別の紹介率が令和2年度から上がっていることと、逆紹介率についても昨年の12月くらいから60%を超えるような高い数字が出ていますが、これは何か特別な取り組みなどをされたのでしょうか。

○ 内部委員

地域包括ケア病床については、診療報酬改定により看護必要度の数値が10%から14%に上がり、それを維持するため、稼働率が昨年度の80%台から一時

期は 60%台まで落ち込んだのですが、現在は従来の 80%台を維持できるところまで回復してきています。

紹介患者数の件については、従来はCTやMRI等の検査のみで来られた患者さんを除外していましたが、それらを紹介例として含めたことで、結果的にパーセントが上がっています。また、分母である初診患者数が減少したため、相対的に数字が増えたという点もあるかと思います。

逆紹介率の伸びについては、あとで確認します。(確認：初診患者数が減少したこと及び紹介患者数と同様に検査のみの患者さんの件数を含めているため。)

○ 外部委員

分かりました。

○ 内部委員

そのほかご意見ありますでしょうか。

特にないようでしたら、以上をもちまして第 11 回協議会を終了したいと思います。次回の開催は、来年の 2～3 月頃を予定しておりますが、協議会の場のみではなく、常日頃より、幅広く地域の方々の意見を聞きながら、病院運営につなげていきたいと思っています。

本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。引き続き、ご意見ご指導のほどよろしく願いいたします。